

# 身替わりかれん（県大会上演版）

山本千恵 原案 前川泰信 作

5 キャスト

A 千春

B 静香

C ゆかり

D 朋美

10 E かれん

F 喜美子

G (かれん)

その他 イメージシーン等の登場人物は適宜

15 舞台正面に向かって、教室の机と椅子6組が並んでいる。客席側に黒板があるという設定。教卓は置かれていない。

風雲急を告げる感じのBGM。幕が開く。教室に机をはさんで女子高生2人、C・Dがにらみ合っている。Dの後ろにはAが立っている。マスクをした女子高生Bが下手から大あわてで駆け込んでくる。

20 B おはよっ。

C 静香、遅い。

B ごめんっ。じゃいくよ。

Bは、マスクを取り、息を整え、かばんの中からおもちゃのハンマーと雑誌を出す。それをC・Dの間の机の上に置き、2人を審判する位置に立つ。その間にC・Dはウォーミングアップを始める。AはDのセコンドのようにマッサージしたりする。

C 何回戦だっけ？

A 十三。

30 B よし。じゃ始めます。はい！

CとD「たたいてかぶってじゃんけんホイ」を始める。始め、ジャンケンはDが勝ち続けるが、棒を持つのがおたおたして間に合わない。やがてじゃんけんのあいこが続く。ついにDが負けるが、DもCも棒を持ってしまふ。ひっぱりっこするがDが負け、雑誌を取ろうとして机から落としてしまい、おたおたするうちに、  
35 余裕でCがDを叩く。

B 勝負あり！

C よし。十三連勝。

D ちいちゃーん。

- 5
- A よしよし。  
B ともちゃん、もういい加減あきらめたら？  
C 次は絶対勝つもん。  
D ゆかりもさあ…。  
E 手加減なし！  
F えー。  
G ともちゃん、大丈夫？  
H うん。

10 D、Aの臭いをしきりに嗅ぐ。A、くすぐったそう。

- 15
- A 朋美、朝からそれかよ。  
B 毎日、飽きないねえ。  
C 仲がいいってレベル超えて、いつそキモイ。  
D だってちいちゃんの臭いが一番好き。  
E それがキモイんだって。千春嫌がってんじゃない。  
F え？ 嫌なの？

- 20
- A ううん。むしろ好き。  
B ほらー。  
C えー。  
D マジで言ってる？  
E うん。

- 25
- A 嗅がれて  
B 嗅いで  
C あんたらどうなってんの？  
D マジか…。  
E A D 十七年。

30 しばらくDがAを嗅いでいる様子を見ていたBが、

- 35
- A あのさー。  
B 何？  
C なんか、あたしもちよっと嗅いでほしいかも。  
D おいおい、静香。  
E やったー！  
F うそ…。

D、Bの至近距離に近づいてしきりに嗅ぐ。

40 B どう？

D うん、わりとレベル高い。  
C レベル？

B そう？ そう？

C 嬉しいか？

5 D えーと…。

B …何？

D 昨日の晩ご飯は…レバニラ炒め。

B ! 当たり。

C 分かんのか？!

10 A 3日前の晩ご飯までさかのぼれるよ。ねー、すごいんだよねー。

D えへへ。あとー、最近ー、ちよつと寝不足じゃない？

B また当たり！

C どんな鼻してんだ？

15 D、標的をCに変えて嗅ぐ。

D …お母さんが頭痛持ち。

C …すごっ！

B なんて分かる？

20 D そして今日意外な出会いが。ラッキーカラーは黄色。

C …ふーん。

B ふーんって…。

25 E、下手から登校してくる。皆の視線がEに移った隙に、Cは小さくガッツポーズしている。Bはにやっとして見ている。

E おはよー。

皆 (口々に) あ、おはよー。

A (Dに目配せして、リモコン操る動作) ピーピー! 臭い探知ロボ 発進!

30 D ガシャーン!

A 目標、かれん!

D ラジャー!

E え? 何々?

35 D、ロボットのな歩き方でEに近づいて臭いを嗅ぐようにするが、びくっとして離れ、大あわてで戻ってきてAの後ろに隠れる。

C あ、ロボ弱い。

A ともちゃん、どうした?

40

D、無言でふるふる震えている。

B …かれん。

E 何？

5 B 今日の運勢、相当悪いらしいよ。

E は？

D …ちがう。

A え？

D 臭いが…。

10 A ダメだよ、そんなこと言っちゃ。

D 全然ない。

A …え？

15 皆が、Eを見つめる。F、下手から登校してくる。

F おはよう。

E おはよ喜美子。待ってたよー。

F は？

20 E どう、これ？

F どうって？

E ほらあ。

E、くるりと回って見せる。

25 F ? 髪切った？

E 違うよ！ あのさ…

D かれんじゃない。

F …は？

30 F、初めてみんなの空気がおかしいのを感じて。

F え？ どうかした？

A あのね、ともちゃんが臭いかいだから…。

D それ、かれんじゃない。

35 F …どういうこと？

B 臭いが全然ないんだって。

F 何？ かれん、またシャンプー変えたの？

C 違うって。

E 朋美に気付かれるとは思わなかったなー。幼なじみの喜美子もまだ分かんないのに。

40 F 気付くって何？

E、「気づいて」「という仕事。

F 臭い…、あ。

5 E 分かった？

F もしかして。

F、Eの後頭部を調べて。

10 F …かれん。

E やつと分かった？

F 完成したんだ。

E イエイツ！

F イエイじゃないよ、それで学校来るなんて。

15

F、自分の席へEを引っ張っていき、二人で話を始める。

F かれん。

E 何？

20 F 何じゃないよ。何考えてんの？

E 何も考えてない。

F あのねー…。先生にばれたらどうすんの？

E 科学の進歩は校則なんかじゃ止められないだよ。ユー・ノウ？

F かれん、今どこにいんの？

25 E いや、ここだけ。

F 本物のかれんはどこって聞いてんの！

E あー、部屋？

F もう！ これ、サボリじゃん。まさか学校に持ってくるなんて。てか、来るなんて。

C 何何？

30

E、みんなのところへ行き、後頭部を示す。

A どうしたの？

B あれ？ これ…。

35 C え？ スイッチ？

D どういうこと？

A なんでこんなの付いてんの？

40

皆が、Eの後頭部に注目する。Dは臭いを嗅いで逃げていく。CはスイッチをいじろうとしてFに止められる。

A ねえ、どういうこと？  
F なんていうんだっけ？

5 E サブステイチュード・ボディ。  
D シャブステテテテテ…？

E 言いにくいでしょ。だからうちではもう単に「ボディ」って呼んでる。  
A うち？

F かれんのお父さんの会社。  
B え、会社？

10 A 結局、なんなの？  
E サブステイチュード・ボディ。

B 身替わりの…体？  
E それそれ。

15 A え？ まさかこれって。  
E そ、私の身替わりです。

C は？ ってことは？  
B これ、全部作り物？

C うそ。  
A うわー。

20 皆が、Eの体をあちこち点検する。

B 全然分かんないねー。

25 C (Eの頬をつついて) うわあ、この感じ。  
A どう見ても本物。

E やめてよ。  
A 髪の毛も。

B うん。  
C 喜美子、よく分かったな。

30 F こないだ、かれんのうちで試作品見せられた。  
C あー。

E あの人の道楽でさあ、会社の開発部門私物化して作っちゃったの。  
A それ、いいの？

35 E えーと、八千億とか？  
C いくらかかったんだよ？

C ふざけんな。  
E お金だけは無駄にあるうちなんで。

F たぶん、そろそろ売り出すつもりなんじゃないの？ すぐ元取っちゃうんだよ、かれんのお父さんなら。  
C Mとか流れ始めるかも。

40 B C Mかあ。

B・Cが顔を見合わせる。CMの音楽。B・CがCMを演じる。

C ますます深刻化するストレス社会。

5 B あなたはその中で擦り切れていませんか？

C しかし！ もう無理をする必要はありません！

B 最新ロボット工学の全てを詰め込んだ、夢の「もう一人の自分」。

C B 「ボディ」があなたの人生を変える！！

D あのー。

10 E うん？

D つまり、かれんに臭いがないのは…。

A とちちゃん、これロボットなんだって。

D ロボット!?

A そういえば、とちちゃん、ほら、文集。

15 D 文集…、あっ！

D、Eに駆け寄って来る。

C 文集？

20 A とちちゃんね、小1の文集の「大人になったら」っていうコーナーに「ロボットになりたい」って書いたの。

C 人間捨てんなよ。

B あ、だから時々「ピーピピ」ってやってんの？

A そう。

25 C それつきあってやってんの？ えらいねえ。

A そうじゃなくて…。

D ねえ、かれんは誰と戦うの？

E は？

D 怪獣？ 悪の組織？

30 C 正義の味方じゃねーよ。てか、むしろこいつが悪！

E なんですよ。

D 武器は？ (Eの手をつかんで) ロケットパンチ！

E 武器とかついてないって。

D えー。じゃ、(スカートに手をかけて) ロケットパンツ！

35 E (スカートを抑えて) ちよっと！

C 何が飛び出すんだよ、それ。

A (Dの表情が曇るので) とちちゃん、どうした？

D なんかつまんない。臭いもないし。気持ち悪い。

A 気持ち悪いって…。

40 E だから、戦闘口ぼじゃないから。

- B でも、ともちゃん、いいとこ突いてるんじゃない？
- C 何が？
- B かれん。なんでそんな高性能ロボットが要るのよ、悪と戦うわけでもないのに。
- E んー、たとえば。
- 5 F 何？
- E 喜美子、ここんとこ。(ひじを見せる)
- F ?
- E 気付かない？
- F 何が？
- 10 E もーっ、小3の時に自転車で！
- F あー、転んだ時の傷。たしかにないね。
- E でしょー。
- F でも、そんなのもともと気になんなかったし。
- E あたしは気にしてたの、ずっと。
- 15 F :そっか。
- E 後ね、後ね。
- A 何？
- E このあたり (Aに顔を近づける)。
- F 顔に傷なんかあったっけ？
- 20 E じゃなくて、頬骨、すこーし低くなってんの。で、その分鼻をちよこつと高く…。
- A えーっ。
- C 整形かよ。
- E 違うって、そういうふうに参加の人に言って作ってもらったの。
- C ふーん。
- 25 E :何？ 感動がない、感動が！
- C いやあ、言っちゃなんだけどさ…。
- F うん。あんたが思ってるほど変わってないよ。
- E そこが大事なんじゃん！ 気付かないうちにじわーっと変わってくってことじゃん。
- D アデランス？
- 30 E はげてねーよっ。いつのまにか、かわいくなってるってこと。
- B ふーん。
- E 何よ。
- B なんかさー、危ない臭いがする。
- C えー、そうか？
- 35 D え、しずちゃんも鼻が鋭いの？
- C そういうことじゃねーよ。
- F 私も同感。
- E 何が？
- F 分かんない？
- 40 E うーん…。

- F かれん、今部屋にいるんだよね？  
E うん。  
F 2階の？  
E うん。  
F 8畳の。  
E うん。  
F 2年前から掃除がしてない。  
E うん。って、ほっとけ！  
F こないだ見せびらかしたみたいに、体にコードいっぱいつけて座ってるの？  
E そうだけど。  
10 E コード？ 重病の人みたいにな？  
A えー、そういう言い方されると…。  
E やっぱ危ない臭い。  
15 E そんな変なイメージじゃないですよ。ほら、こうやって手を握るとボディも握る、そんだけ。  
A じゃ、かれんはこれと全くおんなじ動きをしてるってこと？  
E まあ、脳波とつながってるから、別に動く必要もないんだけどね。つい動いちやうかな。  
A ふうん。  
B じゃ、部屋の中歩いたり走ったりしてるわけでもないんだ。  
E まあね。でも、体動かしたら、ボディも連動して動くのはたしか。  
20 E やっぱり、それダメだと思っうな！  
E なんて？  
C いいんじゃない？ 個人の自由じゃん。  
E だよねだよね。  
25 E そういうことじゃなくってさあ…。  
F ねえ、今日一日そうやって座ってる気？  
E え？ まあ…。  
F 明日も？  
E あー、そのー、今日はさ、つい見せびらかしたくなかったから、たまたまっというか…。  
F ほんと？  
30 E ホントホント。  
F 絶対明日は自分で学校来なきゃだめだよ。  
E ホワイ？  
F 分かんない？  
E え？…これずる休みとかになんの？  
F ばか。  
35 E ばか。  
B かれん、あのねえ、高校生活ってのは…。  
F しずちゃん、この子、そういう話しても分かんないから。  
B あー。  
F …かれん、学校はボディに任せて一日中ずーっと座ってるつもり？  
E んー、明日数学あるし。

- C あ、いいなー。  
B ゆかり！  
F そんなの続けたらどうなると思う？  
E えっと…  
5 F 太る！  
E げっ！  
F 分かった？  
E 分かった分かった。  
F 今日一日は先生に黙っててあげるから。  
10 E ほんと？  
F 絶対明日は来るんだよ。てか、これ会社に返して。  
E えー。  
F えーじゃないよ！

- 15 チャイムが鳴る。B、マスクをする。皆、それぞれ席に着く。青転。ややあつて溶明。  
B 起立。礼。着席。(マスクをとる)  
D 終わったーっ！  
A よしよし、今日もよく耐えました。  
20 D ちいちゃん、嗅がせて。  
A はいはい。  
C なんとかならんのか、それ。  
B かれん。  
E ん？

- 25 B 気付かれなかったね。今日。  
E でしょ？  
F かれん、今日全然ノート取ってなかったよね。私、見せてあげないよ。  
E 必要ありません。  
F は？  
30 E 全部覚えた。パーフェクト・メモリー！  
C 何言ってるの？  
E じゃ、質問してみてよ。  
C 質問？

- B (ノートを開いて) じゃあ、「土佐日記」以外で紀貫之の書いた有名な文章は？  
35 E 「古今集」仮名序。

みんな、すごく驚く。

- C どうした?! かれん。  
40 E そのリアクション、失礼じゃない？

- B じゃ、紀貫之以外の古今集の撰者の名前は？
- E 紀友則（きのともりの）、大河内躬恒（おおしこうしのみつね）、壬生忠岑（みぶのただみね）。
- B 「男もすなる」の助動詞「なる」の意味は？
- E 伝聞。
- 5 B 「あざれあへ（え）り」の「あざる」の意味二つ。
- E 「ふざける」と「腐る」。
- C どうなの？
- B …全部正解。
- 皆 …。
- 10 E 分かってもらえましたか？
- D かれんって実は天才？
- A 違うと思うよ。
- B どういうこと？
- E 時間指定すると、その時間帯にポデイが見たり聞いたりした情報が電気信号になって神経に送られて、記憶になんの。
- 15 D すごーい。
- F てか、それ、ずるくない？
- C 金持ちは勉強もしなくていいってか。
- E へっへー。
- 20 B あのさ。
- E 何？
- B 授業はさ、自分の頭で考えながらノートを自分の手で取することに値打ちがあるんだよ。
- E へえ。
- B …何？
- E 聞くけどさあ、ほんとにみんなノート取りながら考えてる？
- B え…。
- E 高校の授業って、ひたすらノート写すだけで、私、考えたことなんかないけど。
- 30 E …。
- E だったらさあ、別にポデイで記憶したっていいじゃん。テストだって、覚えときさえすればだいたいできるじゃん。みんな、時間割とか自分の頭で覚えなくて写メってるよね。おんなじじゃん。
- C 携帯と一緒にすんなよ。
- E 一緒一緒。これ、ほとんど携帯よ。ちよつと大きめの。
- D 手足の付いた？
- E そう！ 人間型の。てか、わたし型の。
- 35 D 人間携帯？ 渡辺謙？
- E 今夜は遅くなる。
- D (腹のあたりで通話) もしもーし！ メール！ 顔文字は？
- A 顔文字？
- E 「ギターーッ！」
- 40 C 顔芸じゃん。

- E 「ショボーン…」  
B 却下。  
E (ひざまずいて) ORZ。  
C いいかげんにしろ。  
5 E ノリわる。ねー、ともちゃん？ あれ？

振り向くとDはEを見捨ててAにくっついている。

- D 飽きた。  
10 E おい！  
B とにかく！ 私は認めないからね。  
C まあ、今日はばれなかったんだから、よくね？  
B よくないの！

15 間。

- F しずちゃん、なんかムキになってる？  
A なんか珍しい。  
B ;別に。

20 ちょっと気まずい間。

- A あ、もうこんな時間。ともちゃん、行こっか。  
D うん。  
25 C あ、ほんじゃまた明日。  
D そいじゃねー。

30 それぞれに教室を出て行く様子を見せてストップモーション。ME。青転。ストップがほどけて役者は動作を揃えて机をつなげ、堤防にする。MEが海辺のSEに変わる。夕焼けのホリ。暗めに溶明。上手から下校のFが登場し、堤防に上がって歩く。真ん中あたりで、ホリに向かい深呼吸。海を眺めている様子。

- F かれん。  
E ん？  
F ほんとに明日、自分で来るよね。

35 E んー。  
F 何が「んー」なの。なんでこんなことすんの。

- E 喜美子。  
F うん。  
E ここ見て。

40

Eが靴下を提げて膝を見せる。

F え？ ここって…、あ！

E あの怪我也帳消しになった。

5

SE。急ブレーキの音。

F いっただっけ。

E 小5。

10 F あれでバレエやめたんだったよね。

E うん。膝が伸び切らなくなったら、どうしようもないから。でも、これなら、ほら。

E、ポーズをとって見せる。

15

F あ。

E 見て。

E、Fの周囲を踊って回る。踊り終わってポーズ。

20 E どう？

F 久しぶりに見た、かれんのバレエ。

E なくしたものが返ってくるんだよ、ボディで。

F うーん。

E 納得？

25 F NO。

E なんで？

F それで踊れたとしてもさ、それ、かれんのバレエってことになるの？

E 私のバレエ？

F だって、Wiiの卓球とかさ、パワフル甲子園とかさ、そんなのと同じじゃないの？ 機械が代わりに

30 踊ってるだけじゃん。

E ……。

F 気持ちは分かるけどさ、なんかごまかしてない？

E ……。

35 上手から、二人連れが歩いてきて、EFの前を通り過ぎる。二人は、「ねえ、見てー。」「ほんとだー。」を無機的に繰り返しながら歩いていく。

E 川本さんと竹村さん…。

F 知り合い？

40 E うちの会社の人なんだけど。

- F え？
- E 開発部門の。どうしたんだろ？
- F あれ、大丈夫なの？
- E うーん、…あ。
- 5 F 何？
- E あれ、2人ともボディだね。
- F げ？ それで？
- E たぶんオートモードにしてるんだ。
- F オートモード？
- 10 E ボディつないでるとけっこう疲れんのよ。で、自分の意識と接続切って、機械任せにすんの。
- F 機械任せ？
- E うん。会話の流れとか読んで、まあまあ当たり障りのない対応してくれるの。
- F 当たり障りのない？
- E …そのはずなんだけど…。
- 15 F ちよっとー。あれで当たり障りが無いって？
- E まあねー。ボディ同士だと会話とかのパターンが少ないからあんなっちゃうんだね。びっくりしたー。
- F 絶対きもいって。…あ！
- E 何？
- F かれん、今日の授業。
- 20 E …ばれた？
- F オートにしたた？
- E さすが喜美子、鋭いねえ。
- F もう。で、オートにして部屋で何してんの？
- E ん。携帯いじったりとか。
- 25 F ! 何やってんの。信じらんない。
- E なんでよ。先生にうなづき返すくらいのはできるよ。本物が授業に出て寝てるより印象よくない？
- F はー？
- E あ！ 喜美子、お願いがあるんだけど。
- F …何？
- 30 E オートだとさあ、さっきのあれみたいにどうしても不自然になること、あるからさ。ピンチだと思った  
らここ、押してくれない？ 強制的に意識がつながるから。
- F 何言ってるの？
- E お願い。
- F お願い。
- 35 F それって、明日もボディで来るぞってこと？ いい加減にして、もう。
- E よし、これで安心。
- F ちよっとー。
- 40 と怒っている。C、続いてBが登校する。Bは、していたマスクをとる。
- 下手へ去るEの後をFが追う。青転。役者が一列で下手から登場し、動きをそろえて机を移動、教室の状態を復元する。FとE、AとBがそれぞれに話をしている。FはEに対して「なんでまたボディで来てるの？」

- C 結局、またボデイで来たか。
- B さすがに今日は見つかるんじゃないの？ 知らないよ？
- E まだまだ勝算あり！
- 5 F あのさあ、生の自分じゃないって、やっぱ不自然だよ。
- D 臭いがないのはだめ！
- B ものつすごく堂々と学校さぼってんだからね。こんな挑戦的なこと、ばれたらとんでもないよ。
- A え？ まさか退学とか？
- B 見せしめにそのくらいやるかもね。
- 10 A えー、かれん、なんでそんな危ないことすんの？ なんで自分で来ないの？
- C ま、そりゃ楽だからじゃね？
- A 楽？
- B かれん、こんなの自分じゃないじゃん。言ってみれば仮の姿で学校来てんでしょ？ おかしいって。
- E 静香は、そんなこと言えんの？
- 15 B は？
- E 自分はもうだって言ってるの。
- F かれん、あんたしずちゃんに、なんか言える立場じゃないって。
- C ザ・委員長だからなー。
- E 静香。
- 20 B 何？
- E あんたさあ、伊達マスクでしょ？
- F 伊達マスク？
- A なんか聞いたことある。
- C 伊達直人？
- 25 D タイガーマスク！
- E 違うって。静香は伊達マスクだって言ってるの。
- A 伊達マスク。
- F しずちゃん、ほんと？
- B (うなづく)
- 30 A ってことは、…つまり、ランドセル配って歩いてたのはしずちゃん？
- D すごーい。
- C 全国ニュースじゃん。
- D しずちゃん、えらーい。
- 35 A・Dが駆け寄る。
- E だから、違うって！
- B 伊達ってのは、要らないのに付けてるってこと、伊達メガネと一緒に。
- D メガネも配ってたの？
- 40 E 朋美ちよつと黙って。静香、花粉症じゃないよね。インフルエンザ予防ってわけでもないよね。

- 5  
A 大騒ぎだったねー。  
B でああ、してみたたら、あれ？ なんとなく楽だなんて。  
F 楽？  
B うん。でね、その時ははっきり自覚しなかったんだけど、この冬にまたマスクしたのね。  
C 油断するなって言ってたし。  
10 B そしたら、はっきり分かったのよ。顔半分隠してると、すごい楽だつて。  
A あ！  
D 何？  
A 私もそれ分かる。  
15 B ちいちゃんも？ よかったー。表情とかさ、見られてないって思うと、あんまり周り気にしなくていいつていうか。  
A ていうかさ、前がそんなに気にしてたつてわけじゃないけど。  
B そうそう。マスクしてから、前は気にしてたことに気付いたつていうか。  
C 何二人で意気合つてんの？  
D 何の話？  
20 A あのね。いつも笑つてる人に話しかけて、笑つてない顔で返されるとどきつとしない？  
F あー、まあね。絵文字のないメールみたいなの？  
C あーはいはい。  
A でも、人間そうそう笑つてる時ばかりじゃないし。  
B それ！ 別にさあ、不機嫌つてわけでもないけど、なんていうかさ、友達向けの顔じゃない時つてあるよね。  
25 E 友達向けの顔か…。  
B そういふ微妙な表情とかさ、どう受け取られてるんだろうつて気になんない？  
C そうか？  
A 怒つてないのに、怒つてるみたいにとられるとかー。  
B そう。  
30 F 嫌つてないのに、嫌つてるみたいにとられるとか？  
B そうそう。  
C まあね。  
B それがさあ、マスクしちゃえば、かなり隠れちゃうわけよ。気にしなくていいわけよ。  
C あー。  
35 D えー、しずちゃんもちいちゃんも顔隠したいの？  
A ともちゃんに隠したいわけじゃないよ。  
B 仲のいい子なら関係ないつて。  
C …なんかさあ、しずちゃんつぽくないよね。  
40 D うん。

B 何が？  
C マスクで顔隠すとか。  
D うん。意外。  
B あたしっぽいって何？

5  
間。

C え？ そりや、委員長で頭もよくなって頼りがいがあって…。  
B それで？

10  
C ちよつと、静香、なんか怒ってる？

B そうじゃないけど、やっぱ私ってそういうイメージなんだなって。

C いいじゃん。私、ぶっちゃけうらやましいけど？

15  
B 私、小学校からずうつとそういうイメージなんだ。なんか周りからそういうふうに見られると、そういうふうにしてなきゃいけないみたいな感じ。ほんとはさあ、私そんない子でもないよ？ なのに、なんか私が私の中に閉じこめられてる感じ。

C 静香…。

D …なんか、びっくり。

F …何？ それでしずちゃんは伊達マスク？

B ん？ あ、それも関係あるかも。

20  
間。

F で？ かれん、伊達マスクがなんだった？

E だから、自分のほんとはじゃない姿で学校に来てるのは私だけじゃないってこと。

25  
F なんか問題すり替えてない？

A …私もちよつと明日からやってみよつか。伊達マスク。

F え？

D ちいちゃん、マスクすんの？

C あ、いいかも。私も乗る。

30  
F ちよつと。

C 何？

F うそでしょ？ ゆかりはともかくちいちゃんまで。

C どういう意味よ？

E いいじゃん、楽なら。ティキッティーズィー！

35  
C こいつみたいに馬鹿高くないし。

E こいつって言うな。

A マスクならみんなできるしね。

F え？

C は？

40  
F ちよつと、ちいちゃん、お金がかかるからかれんみたいにしなだけなの？

- C そりゃあ、そうじゃね？  
D ちいちゃん？  
A うん。  
F …うそ。  
5 C うそじゃないって。ねえ。  
F そうなんだ…。

チャイムの音。青転。溶明。

- 10 B 起立、礼、着席。  
D 終わったーっ。  
A 今日も生き延びました。  
B かれん、今日も結局ばれなかったね。  
E 勝算ありって言ったつしよ。  
15 F 私は認めないからね。  
E もはや孤立無援ですな。  
B 別に私、ボディで来ていいなんて言っていないから。  
E えー。  
D 私もなんかやだ。  
20 A ともちゃん？  
E 何？ 朋美が千春と食い違うなんて珍しい。  
A なんで？  
D だって、かれんの臭いがしない。これ、かれんじゃない。  
E 悪かったね。あ、じゃあ、そういう人のために「体臭付きボディ」とか作ってもらおっか。  
25 C うわ、マニアック。  
D 臭いってそんなんじゃないよ。もつと中側から出てくるんだもん。  
F 中側。  
D うまく言えないけど。  
A ともちゃんの臭い哲学だね。  
30 D 哲学？  
B 人生とは何かとか、世界はなぜあるかとかを考える学問。  
D あたし、哲学？  
B うん。  
D やったあ。どうだ、かれん。  
35 E へえ。…まあ、いいんじゃない。(ニコニコ)  
C いいって何が？  
E 大丈夫だよ。(ニコニコ)  
A 何が大丈夫なの？  
E うん、心配しないで。(ニコニコ)  
D どうしたの？

F あっ！ かれん！

F、Eの強制接続ボタンを押す。

5 E うわっ！ ああ、喜美子、いきなり何すんのかな。

F 今、オートにしたでしょ。

E あ、ばれた？ もう喜美子鋭（するど）すぎ。

F ふざけないで！ 友達としゃべっててオートにするってどういうことよ！

A オート？

10 F 今、機械が勝手にしゃべってたんだよ。かれんとつながってなかったってこと。

A えー。

B それはどうよ。

E ごめんごめん。なんか哲学？とか小難しい話になりそうだったから、めんどくてさあ。

B めんどいって…。

15 F 二度としないで！

E イエッサー。

C さすがにそれはむかつかない。

A あ、でも…。

C 何？

20 A 誕生日メールの、日時指定送信もオートとおんなじだよ。

C あ。

D 日時指定送信？

A 誕生日の十二時きっかりにメール送るのめんどくさいでしょ？ だから、前もって送っというて、十二時になったら自動的に相手に届くようにするの。

25 D へえ。

E だよ。それがオッケーならさあ、オートもオッケーじゃん。

F 何言ってるの？

E 全部機械任せでしょ？ めんどくさい人間関係。伊達マスクと変わらないって。

B オートが？

30 E 静香言ってたじゃん。生で人と会うとさあ、微妙な表情とか見えてうざいって。

B そこまで言っていないけど。

E オートならこっちの表情ばつちりにこやかで、しかも相手の表情見なくて済むんだよ？

B それがマスクと同じ？

C まあ、基本はそうかもなー。

35 E そんな厄介ならさあ、いっそ捨てちゃった方が楽じゃない？

A 捨てるって？

E 表情。てか感情。

F …本気で言ってるの？

E わりと。

40

間。

F : かれん、私、今日塾だから先行くね。  
E あ、そうだっけ。

5 B じゃ、私も部活あるから。

C んじゃ。

A D ばいばい。

青転。ME。椅子を横一列に並べて電車の車内を作る。その際に3人が動きを揃える。溶明。

10 Fを含めて、3人が座っている。1人はマスクをしている。下手から1人がやってくる。ヘッドフォンから漏れるシャカシャカ音がうるさい。皆、迷惑そうにしているが、1人が鞆からヘッドフォンを取り出して耳にし、ポリウムを上げる。さらに1人ヘッドフォンの人物がやってくる。耐えきれず、F以外の1人もヘッドフォンをする。周りがものすごいシャカシャカ音に包まれる中、Fは耳を押さえてうずくまる。青転。椅子を、動きを揃えて元の位置に戻す。溶明。AとDがいて話している。ABCはマスクをしている。

15

C 楽っちゃ楽だけどさあ。

A でしょ？

C やっぱ息苦しい。

B 無理にしないでいいんじゃない？

20 D ちいちゃん。

A 大丈夫、ともちゃんと一緒の時はずけないから。

D うん。

C かれんのボディはずうっとそのまんまだけどな。

D かれん、今日もボディかなあ。

25 A 何日目？

B もう3週間くらい経つんじゃない？

C いいなー。ばれねーもんだよなー。

D かれんの臭い、もう忘れちゃったかもしれない。ちいちゃん、嗅がして。

A はいはい。

30 D あー、安心する。

C どんだけ見てもキモイな。

下手から、Gが登場し、少し中に入った所で立つ。

35 G おはよう！

皆 ……。

G おはようって！

皆 (口々に)…おはよ。

C 誰？

40 A さあ？

- B うちのクラスに用？  
C 誰の知り合い？  
A 私じゃないけど。あ、手振ってる。ともちゃん？  
D ちがうよ。

5

F、登校してくる。

F おはよ。

皆 おはよう。

10

FはGをちらちら見ながら、みんなのところへ。

F 誰？

B 分かんないんだって。

15

F どういうこと？

C さっき、いきなり入ってきたんだけどさあ。

A 誰の知り合いだらねって。

F ふーん。

G やっぱ、喜美子でも分かんないか。

20

C え、ちよつと。

A きみちゃんの知り合い。

F ちがうって。

B でも、なんか馴れ馴れしかったよ、今。

D こっち、思いつき見てるし。

25

F うーん…、(周りを見回して) あ！

G (にや)

F まさか…。

G 気が付いた？

F …かれん？

30

G ぴんぼーん。

皆 えええっ！

皆、Gの近くに駆け寄る。

35

B どうしちゃったの！

D あ、やっぱり臭いがない。

C 改造とかしたの？

G ニューモデル。ちよつと機能が上がってる。あ、オートもねえ、不自然さが減ったよ。

F そういう問題じゃないでしょ。

40

C 全然別人じゃん！

G まあ、いつまでもおんなじ姿でいるのもね。でもほら、背格好はそれほど変わんないし、昔からさあ、こういう感じもいいなって思ってたし。

A 前のは？

E 飽きちゃったっていうか。

5 C 飽きるなよ、自分に！

B どうすんのよ、今日。

G いや、こんだけばれないってことはさあ、少しくらい変えても分かんないんじゃないかなーって。

C だから、少しじゃねーって！

B 分かるって！

10 F あんた、頭大丈夫？

G 失礼な。いい？ これだけ別人の姿で一日通用したらよ？

F 何？

G 言ってみれば、私が私から解放されるってことよ。すごくない？

A 私が私から解放される…。

15 G 化粧とか整形とかのレベルを超えて、いろんな私が入るってこと。

F 本気で言ってるの？

B 悪いこと言わないからさあ、授業の前に帰った方がいいって。

C うん、いくらなんでも無謀。

D かれん、どうなの？

20 B 下手したら退学。

D ええっ？

G 心配してくれんのはうれしいけどさあ、私なりに勝算があんの。

F また勝算？

B どんな？

25 G あのね…。完全に普段どおり過ごす！

B は？

C ほんとに授業に出る気？

G オフコース。

F 馬鹿なの？

30 G ノー、アトム・ノット・スチューピッド。

B 悪いこと言わないからさあ。

G 大丈夫だって。はいはい、授業始まるよ。

35 チヤイムが鳴る。ABCがマスクをつける。

B 起立。礼。

全 おねがいます。

B 着席。

40 以下、先生を無対象とする無言劇。数学らしい。何人かが先生に当てられて答える。しかし、Gは大胆にも

居眠りをしている。みんながはらはらする。ついにGは指名されるがGは気付かず、頭を叩かれる。Gはむくっと起き上がってすらすらと長い証明問題を答える。褒められたらしくにこっと笑って一礼して座る。みんな驚愕の表情で正面にいるはずの教員を見つめる。青転。チャイムの音。溶明。

5 B ほんとにばれなかったね。

A だよー。

G でしょ？ でしょ？

B でもなんで分かんない？

G まあ、もともと私存在感ないし。

10 F 自分で言ってる悲しくないか？

G う。

A たしかに存在感ないにしてもさ。

G うう。

C 追い打ちかよ。

15 A 違う違う。当たって答えてるのに気付かないってどう。

C まー要するに、生徒の顔なんか覚えてないってことがはっきりしたんじゃない？

B さすが高校というべきか。

D でも出席取ったよ？

C 席が全部埋まってるかチェックしただけだって。

20 D あー、そっかー。

G あのねえ、部屋にいて、ずうっと外側から高校の一日見てるとね、いろいろ分かってくんよ。アウトサイダーとして。

B いろいろって？

G 授業ってさあ、私なんか、何やってるかほんつとに分かんないよ。

25 F 何いばってんの？

G その分かんないこと、ひたすらノートに写してるだけじゃん。

F それすら、かれんはしなくなったけど。

G 聞いてよ。中学の時まではさ、まだ、周りと相談するとか、挙手するとか、とりあえずやることいろいろあったけどさあ、高校ってほぼ座ってるだけじゃん。

30 C 言ってる。

B ちよっと身も蓋もないけど。

G できあ、寝ると怒られて、携帯使うと取り上げられて、一体何してろっていうわけ？ ひたすらじーつとしてるだけならさあ、私の体があつたらそれでいいんだよ。てか、私じゃなくても、なんかそれらしい体があつたらいいんだって思ったんだ。

35 B ますます身も蓋もない。

G その仮説が、今日証明されたってわけ。Q・E・D！

B 言い切った？ ※

A …かれんさあ。

G ーん？

40 A 私が私から解放されるって言ったよね。

G うん。言った。

A 私、すごいうらやましい。

D ちいちゃん？

F なんか、こないだから変じゃない？

5 A お金さえあつたらさあ、自分じゃなくなることができるとだね。いいなあ。

D ちいちゃん、どうしたの？

B 大丈夫？

A 私、自分じゃなくなれるんならさあ、私なんか何にも残らなくてもいいから…。

C おい千春、どうしちゃったんだよ。

10 F ちいちゃんみたいに優しい子が何言ってるの？

A 私なんか何にも取り柄ないよ？ これって個性もないし。

D ちいちゃん、誰よりもいい臭いするよ？

A ともちゃん、私分かっちゃった。ともちゃんに嗅いでもらって、私は私でいられるんだなあって。

C 逆だろ、逆！ どうみたって、千春が世話してんじゃん。

15 A ずうっと思ってたこと、今日、かれんがやってくれたんだ。私、コンプレックスの固まりだから…。

D うそ…。

C 勘弁しろよ。なんなんだ、この頃みんな！

G 千春は…。

A くん？

20 G ボディなんか要らないよ。

B は？

F かれん？

25 問。

G 貧乏人にはボディなど要らないのだ！

C おい。

G ボディは私だけのものですー。オンリー・ミー！

C 何様だ、こいつ。

30 G っことで、みなさん、次の授業もよろしくー。

皆・・・。

35 青転。ME。以下無言劇。中央のサスの中に、EとGが正面を向いて並んで座っている。ゆっくり同時に立ち上がろうとするが、Eは腰が抜けたようにへたりこんでしまう。それを見下ろすG、見上げるE。二人が同時に、前方の友人を見つけるが、手を振って呼びかけるGと比べて、Eは声をかけようとして手をひっこめてしまう。どんどん会話が盛り上がってにこやかに話にはつらつとするG。ポケットからマスクを出してつけ、ヘッドフォンをかけ、携帯をいじりながらうつつむくE。サスがゆっくり消えて、Eは下手にはける。入れ替わりにFが舞台上に戻る。溶明。みなが下校して、F・Gのみ残っている様子。

40 F 信じられないけど、その姿で一日無事に終わっちゃった。

- G この一步は大きな一步だねえ。
- F えらそうに言わないで。：かれん、これで満足なの？
- G 満足だよ？
- F ちいちゃんのことも？
- 5 G ああ。：正直びっくりした。
- F だよね。てか、かれんがそれで来始めてからさあ、みんなちよつとずつ変になってない？
- G そう…かな。
- F そうだよ。
- G でも、私はうまくいってるんじゃない？
- 10 F ー。けどさあ。
- G ー？
- F 結局バレエやってないよね。
- G …うん。
- F やればいいのに。そのためじゃなかったの？
- 15 G そうなただけど。
- F けど？
- G なんかやっちゃってしょうがない気がして。てか、もしか怪我する前よりうまくできちゃったら、それはそれで怖い気がするし。
- F 怖い？
- 20 G なんかうまく言えない。でもいいんだよ、バレエはもう。学校生活はうまくいってるんだし。
- F そっか。かれんがそう言うなら…
- G すごくうまく。
- F ー？
- G うまくいきすぎだよね。
- 25 F いきすぎ？
- G ていうか、：私が余分。
- F は？
- G もうさあ、もうここまで来ると、ばれないってレベルじゃない？ むしろ先生にしたって、友達にしたって、ボディの方が私なんじゃないの？ こんだけこっちでうまくいってるんならさあ、明らかにこっちの方が本物じゃない？ てかもうこっちで生きてくしかなくない？
- 30 F 何言ってるの？
- G 最近さあ、家でも、こっちで過ごしてるんだ。
- F …家でも？
- G テレビ観たりとか、食事とか。
- F は？ 食事って…。
- 35 G もちろん、ボディは食べれないから、食べるのは私だけど、家族と話したりするのはこっちで、終わったら、部屋に持ってきて、私が食べる。
- F それ、何にも言われないの？
- G 最初ちよつと言われたけどね。最近はもうあきらめた感じ。
- 40 F ちよつと、それってだめでしょ。

G だめだよ！ 明らかに変だよ！ でもさあ、今更私、どうしようもないんだよ。もとの体で学校になんか行けないし、家族にも会えないし。

F ちよっとしつかりしなよ。「もとの」って何よ。

G もう、こつちが私だもん。部屋にいるのは私じゃないもん。

5 F ばか！ 何言ってるの！

G 部屋にいる方はもう要らない。捨てたい。

F かれん…。ボディに接続しすぎなんだよ、疲れてんだよ。

G そうかな。…最近寝れないんだよね。薬とか飲まないと。

F 薬？ ねえ、もうやめなよ…。

10 G 喜美子はなんで生身でいられるの？ 怖くないの？

F 私は…。

G 喜美子は強いよね。

F ちがうよ！ 私、こんなことになる前から、ずうっと人が怖いんだから。

G いいよ、そんなこと言ってくれなくたって。

15 F うそじゃないって、かれん。

G 喜美子さあ。

F ……？

G もうずうっと、ボディでしか会ってないよね。

F そうだね。

20 G 喜美子は、私の何を、友達だと思ってくれてる？

F ……。

見つめ合う二人。ゆっくりと暗転。ME。溶明。C対Dの「たたいてかぶってじゃんけんホイ」で盛り上がっている。Fは少し離れてみている。

25

C D たたいてかぶってじゃんけんホイ！

あっさり、Cの勝ち。

30 C よし、二十八連勝。

D ちいちゃん。

G はいはいはい。審判長。次、私私。

C えー？

G 何？

35 C ボディで勝負って、問題ないの？

B あー、どうでしょうか。協議しましょう。

A え？ 反射神経が異常に鋭く設定されてるとか？

C そういう可能性がなくもない。

B どうなの、かれん？

40 G ノー・プロブレム！

C 何それ？

Fが立ち上がって、Gに近づき、顔をのぞき込む。

5 F かれん。

G ?

F かれん、なんか今日、ちょっと明るすぎる。

G 明るすぎる？

A なに、いつも明るくない？

10 F 昨日あんな話をしたのに、かれんがひきずらないはずない。

B あんな話？

F オートの機能が上がって、不自然さが減ったって言ってたよね。

G 言ったけど？

F ちよつといい？

15 B 何？

F、Gの強制接続ボタンを押す。G、へなへたと倒れる。皆、驚く。

皆 かれん！ かれん！

20

上手にサスがしぼられる。Fは大あわてで携帯をかける。つながらない。F、駆け出そうとする。

A きみちゃん、どこ行くの？

25 物言いたげに皆を一瞬見るが、Fはサスの外へ駆けだしていく。皆は戸惑うが、再びGを心配する。ストツプモーション。上手サス消える。

少し間を置いて下手にサスが点く。サスの中にEが倒れている。そばに薬の瓶が落ちている。サスの中にFが駆け込んでくる。

30 F かれん！ かれん！ かれん！

Eは動かない。薬の瓶を拾い上げて、ラベルを確かめる。Fは震える手で携帯電話をかける。

F もしもし！ 救急車お願いします。大急ぎで！ あ、住所、栄町の五の三の二です。お願いします。

35

上手サス点く。携帯を置き、FはEを助け起こす。上手には同じ姿勢でGが倒れており、AとDが周囲を囲んでいる。この後、以下のセリフを言いながら、FがEを助け起こすと、Gは誰も触っていないのに、Eと全く同じ動きをする。周囲はびっくりして見つめている。

40 F かれん。しつかりして！ ほら、目を覚まして。ねえ、起きてよ。ねえ！ かれん。ごめんね。私もほ

んとは分かっている。怖いよね。でも私、このかれんに来てほしいんだよ。毎日学校で会いたいんだよ。  
ごめん、昨日ちゃんと言えなくて。かれん！かれん！

5 がくんとなって、半身を起こしているGを見つめて、Bが携帯をかける。Fの携帯が鳴る。Fが出る。

B きみちゃん、かれんが…、かれんが…。

F (怒りを噛みしめる表情がややあって) 何言ってるの。かれんはそっちじゃない。そっちじゃないのに…。

10 救急車の音が近づいてくる。Eが少し気がついた様子。暗転。長い間。

溶明。やや青い薄暗い舞台。下手からSSが当たっている。中央あたりに立っているE。下手のSSを振り返り、ためらっているが、やがてあきらめた表情で上手に歩き出す。袖に消える寸前に、目の前にGが登場する。真ん中で出会い、立ち止まって見つめ合う。Gを避けて上手に去ろうとするEをGがとどめ、Eの背中を優しく押す。驚いて振り向くE。やがてEは歩き出す。初めはおそろおそろ、だんだんと胸を張って力強く。Gがゆっくり微笑む。暗転。

15 溶明。教室に、AとDがいる。沈んだ表情。下手から、Eが登校してくる。皆、黙ってEを見つめる。E、引き返しそうな雰囲気を見せる。

20 B おはよ。かれん。

E ……。

間。皆、気まずそうに見つめ合う。やがて、DがおそおそとGに近づいていき、おいをかぐ。

25 D …かれんの臭い…。かれんの臭いだ。

皆、一斉に笑顔になる。DがGを皆のところへ引っ張って行く。

30 C もう！ どんだけぶりなんだよ。

B もう大丈夫？

E うん。ごめんね。

A 何謝ってるの？ よく来たね。

D かれんの臭い、レベル高い！

E レベル？

35 C もう、だからキモイって。

D キモくない！

C お、さからった。

40 などと話している間に、下手からFが登場。

B あ。  
E 喜美子。

ME。F、泣きそうな顔でゆっくりとEに近づく。お互いに「くゆっくりと手を伸ばし合い、やがて手が触れ、合わさる。その手に、みんながゆっくりと手を重ねていく。お互いに笑い合うみんなを見せながら、MEが高まる。幕。

参考・引用

10 古典 「土佐日記」(紀貫之作)

携帯電話CM docomo

アニメ 「マジンガーZ」 (永井豪原作)

「タイガーマスク」 (梶原一騎原作 辻なおき作画)

15 本作品の設定は、映画「アバター」・「サロゲート」、漫画「夢見る機械」などに見られるような、テクノロジーによって作られたもう一人の自分を使用するようになる世界である。似た設定の物語作品は枚挙に暇がなく、本作品も特定の元ネタに基づくものではない。扱っているテーマ自体が今の若者や社会の話なので、時代的には現在に設定してある。題名「身替わりかれん」は、狂言・歌舞伎の演目「身替座禪」からとった。